

2024 年度事業報告書

特定非営利活動法人ボラナビ

1. はじめに

2024 年度は、当法人の基幹事業である「おひとり様会」が 14 年目を迎え、長年にわたり多くの独身者の交流支援を継続してまいりました。また、新たな挑戦として、フィリピン留学エージェント事業「お一人留学」のサービス提供も開始し、多様なニーズに対応する体制を整えました。

さらに、今年度より生成 AI を積極的に活用し、業務の効率化と品質向上を図りました。具体的には、お客様対応の即応性や文章表現の質の向上、情報収集・分析力の強化、資料作成やプレゼンテーション資料の作成支援などに AI を活用することで、限られた人的資源の中でも、より多くの方に高品質なサービスを提供することが可能となりました。

一方で、コロナ禍における孤立防止を目的として助成金により開始していた「みんぐる」事業は、その役割を終え、2024 年 12 月をもって終了いたしました。

2. 事業「おひとり様会」

■ 概要

18 歳以上の独身者を対象とした会員制の事業であり、2011 年にスタートした全国唯一の取り組みです。独身者の孤立防止を目的に、友人づくりを支援しています。月会費は 1,980 円（年払いの場合は 20,000 円）、34 歳以下の女性は無料としています。

■ 新たな試み・主な動き

- 2011 年 12 月より、コロナ禍を除き 13 年間毎月開催してきた北海道交流会は、2024 年 12 月の開催をもって終了といたしました。「おひとり様会」は北海道から始まった活動ではありますが、現在は全国に広がる中、北海道のみで交流会を継続していた状況について不公平性があるとの声もありました。こうした背景に加え、参加者数の減少や限られた人的・金銭的資源の効率化を考慮し、2024 年内での終了を決定いたしました。
- 会報の郵送サービスは、利用者数の少なさと業務負担の軽減のため、2025 年 2 月号

をもって終了しました。

- 朝日新聞出版『AERA（アエラ）』2024年12月23日号にて、「死別された男性」に関する特集記事の中で、当会の死別会員様と代表のコメントが紹介されました。
- イベント申し込み状況の閲覧を、Google スプレッドシートの機能を用いて会員様限定にしました。
- 毎月開催している Zoom 交流会については、2024年9月より奇数月は死別会員様限定の回としました。



■ 会員数

2024年4月時点の会員数は167名でスタートし、2025年3月末には147名（女性99名、男性48名）となり、年間で20名の減少となりました。在籍会員様は、地域別では関東が最も多く61名、次いで北海道50名、関西27名、その他の地域と海外が1名でした。会員は全国19都道府県・地域に在住しています。

■ イベント開催数

2024年度のイベント開催数は105回、延べ参加者数は711名でした。これにより、2011年の活動開始から2025年3月末までの累計は、開催数1,213回、参加者数14,604名となりました。

年度内の内訳は以下の通りです：

- 北海道：51回（延べ467名／うち事務局主催27回304名、有志主催24回163名）
- 東京：27回（延べ115名／事務局主催21回87名、有志主催6回28名）
- 大阪：10回（延べ40名／全て事務局主催）
- オンライン：17回（延べ89名／事務局主催9回53名、有志主催8回36名）

■ YouTube チャンネル

公式 YouTube チャンネルの登録者数は、前年度比で約550名増加し、年度末時点で約1,980名となりました。

■ オンラインサービス

会員限定のオンラインコミュニティ「Slack（スラック）」と「LINE オープンチャット」を日常的に運営しています。

■ 孤独死防止サービス

会員様およびそのご家族を対象とした見守り・孤独死防止の取り組みを継続しています。

3. 事業「お一人留学」

■ 概要

フィリピンへの英語留学を希望される方が、出発前から情報交換や交流を行えるよう支援するエージェント事業として、「お一人留学」サービス提供を2024年10月より開始いたしました。安心して渡航し、充実した留学生活を送っていただくことを目的としています。

■ 活動状況

- フィリピンの語学学校の約70校と契約を結び、前年同時期と比較して提携数が倍増しました。
- LINEオープンチャット「フィリピンお一人留学・観光・移住～在住者と雑談」を運営し、登録者数は約120名となりました。
- LINE、Facebook、Instagram、X（旧Twitter）、Blueskyを活用し、各語学学校の情報を毎日発信しています。投稿文の作成には生成AIを導入し、作業の効率化を実現しました。

4. 事業「みんぐる」

2022年11月、北海道新聞社会福祉振興基金の助成により開始した「みんぐる」は、コロナ禍における社会的孤立の防止を目的としていました。使命を終えたとして、2年後となる2024年12月末日をもって活動を終了いたしました。

5. 事務局の動き

長年にわたり当法人の活動を支えてくださった事務局スタッフの村上智恵子さんが、個人的なご事情により2025年3月上旬をもって退任されました。20年以上のご尽力に心より感謝申し上げます。

以上